大阪ウェルディング工業 株式会社

高品質な溶射・表面処理 機械加工を中国でも実現

海外発注可 納期相談 コスト相談 試作可 小ロット

ロール表面への耐摩耗超硬溶射

業務内容 長年の溶射技術を活かし産業部品の強度を高める

金属表面改質の一つである溶射法を用いて、工業部品の耐摩耗・耐高温酸化・耐腐食等の機能を高める加工を施す大阪ウェルディング工業。過酷な条件下で使われる部品の強度を高め、長持ちさせる重要な役割を担っているのだ。扱う部品は化学・石油分野を始め、鉄鋼・金属・自動車・船舶・エネルギー関連から医療分野まで多彩だ。「ほとんどの国内の工業系上場企業と取引があります」と魚谷徹生社長。

また、ガスやT・ig等の特殊肉盛溶接で素材の硬化処理も行っている。主な加工は滋賀工場で実施、近年は中国に工場を設け、表面処理以外に機械製造にも取り組んでいる。

強み 日本品質を中国で実現しコストダウン

同社では早くから中国に注目。丹念な下調べと準備をした上で、平成13年に上海に進出。現地工場で、国内と同品質の加工を行っている。海外に拠点を移すと技術流出が懸念されるが、同社は現地スタッフ数名を日本に招き研修を実施。技術力を高めると同時に、技能に見合った報酬を提供することで技術を流出させることなく日本と同レベルの品質の維持に成功している。

上海工場での生産溶射部品

「品質を下げずにコストダウンが可能で、教育次第では納期も短縮できます。グローバル競争にも負けません」。その結果、売り上げは従来の2倍以上となった。

中国進出 メーカーとの協業で機械製作も請け負う

中国進出を考える国内企業は多いが、人件費や制作コストが低いという魅力の一方で、技術指導が難しい等の悩みや不安が少なくない。そこで、すでに中国で成功している同社には製造の相談が持ち込まれる。中には手掛けたことがない製作例もあるが、「メーカーの依頼はすべて受ける」と魚谷社長。

その場合は、メーカーから指導を受けるのだが、すでに協業で遠心分離機や石油用掘削機等の機械を製作。「顧客は高品質な製品を低コストでつくることができ、当社は新分野が開拓でき売り上げもアップした」と相乗効果を語る。

今後の展望 中国山東省の工業団地に誘致 仲介役を買って出る

すでに中国で3工場を安定的に稼働させている同社。次は日本企業の中国展開を応援したいと考えている。その一つが山東省の工業団地。「国家級東営経済技術開発区」では日本企業を誘致、家賃や税の軽減等の優遇措置があるというが、魚谷禮保会長が橋渡し役を務めている。同社では今後も「日本の中小企業が協力して、ものづくりを世界に発信したい」と意欲を燃やす。

COMPANY PROFILE 大阪ウェルディング工業株式会社

大阪24

当社の歴史

昭和37年に伯父が創業しました。個人経営だった時に、アメリカ企業が日本に持ち込んだ合金加工に惚れ込み溶射を始めました。以来、金属表面加工に取り組み、ブラウン型テレビ用の金型に初めて溶射をしたのが当社です。その後も新しい技術を取り入れ、部品の耐久性向上に貢献してきました。今後もより高機能な製品づくりと企業間協業でものづくりを支えたいと考えています。

信頼の和を広げることが大切。社会貢献、顧客満足を第一に行動することが信頼を得る道だと思います。

代表取締役社長 魚谷 徹生さん

■主な事業内容
精密機械加工、金属表面改質（溶射・焼入れ）、溶接、産業機械製作 等

■主な取引先（納入先）
特殊（溶射）機械部品メーカー 等

住　所／〒567-0001
茨木市安威2-20-11
ＴＥＬ／072-643-1323
ＦＡＸ／072-643-1422
創　業／昭和37年10月
設　立／昭和45年5月
資本金／3,000万円
従業員／62名

http://www.osakawel.co.jp/